

# 千葉空襲犠牲者の名刻む

千葉市中央区の亥鼻公園で、一九四五年の米軍による千葉市への空襲で犠牲になった市民の名前を刻んだ祈念碑が完成した。四日、除幕式が行われ、訪れた人たちは平和への誓いを新たにしました。

(砂上麻子)



完成した祈念碑で親族や家族の名前を確認する人たち＝千葉市の亥鼻公園で

## 祈念碑完成 千葉市で除幕式

市は六月十日と七月七日に空襲を受けた。死者は約九百人といわれているが、正確な犠牲者の名簿などはないため、空襲を語り継ぐ活動をしている市民が今年、祈念碑を建設するための実行委員会を結成。犠牲者の名前を調べたり、建設費の寄付を募ってきた。

祈念碑は高さ約二メートル。

「忘れない千葉空襲 一人ひとりのいのちの記録」と記され、六百七十五人の名前が刻まれている。

除幕式で実行委員会代表の伊藤章夫さん(七三)は「空襲の犠牲者が生きていたら、戦争をしないで、と叫んでいるでしょう。戦争のない社会にする取り組みを続けたい」と語った。

同市緑区の森大死さん(七三)の父親辰蔵さんは、六月十日の空襲で防空壕から外に出て亡くなった。祈念碑には辰蔵さんの名も刻まれ、森さんは「末永く大切にしてもらいたい」と語った。実行委員会は、今後新たに判明した犠牲者の名を年に一回、祈念碑に刻んでいく。